

TTC標準
Standard

JF-IETF-RFC3320

信号圧縮方式(SigComp)

(Signaling Compression
(SigComp))

第 1.0 版

2009 年 5 月 27 日制定

社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定されたRFC3320に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1.0版	2009年5月27日	制定

4. 工業所有権

TTCの「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC: RFC1662, RFC1951, RFC2026, RFC2119, RFC2279, RFC2326

RFC2434, RFC2960, RFC3174, RFC3320, RFC3261, RFC3321

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元であるIETF RFCによっている。

具体的な規定内容はRFCを参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

本標準は、セッション開始プロトコル(SIP) (RFC3261)やリアルタイムストリーミングプロトコル(RTSP) (RFC2326)の様なアプリケーションプロトコルが生成するメッセージを圧縮するためのソリューション、信号圧縮方式(SigComp)を定義する。SigComp のアーキテクチャと要求条件は、SigComp のメッセージ形式とともに概説される。

SigComp の復元機能性は、復号アルゴリズム動作のタスクに最適化された共通復元仮想マシン(UDVM: Universal Decompressor Virtual Machine)により提供される。UDVM は、DEFLATE (RFC 1951)の様な多くの主要な圧縮方式の出力を認識するように設定することが可能である。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC3320 : 「Signaling Compression (SigComp)」